

## 生きものたちの健やかな成長を願って「七夕エンリッチメント」を開催 廃棄食材を使った短冊をプレゼントします



大阪府吹田市「EXPOCITY」の生きているミュージアム「NIFREL(ニフレル)」では、2024年7月6日(土)と7月7日(日)の9時30分より、七夕にちなんで生きものたちに野菜や果物の短冊を与える「七夕エンリッチメント」を行います。ワオキツネザルやパルマワラビーなどが暮らす「うごきにふれる」ゾーンに設置した長さ約2m、計15本の竹に、事前募集から選ばれたニフレル年間パスポート会員様のお手伝いのもと、野菜や果物を星形や長方形に切り抜いた短冊を吊ります。普段とは違った方法でエサを与えることで、生きものたちへ発見や驚き、好奇心をかき立てて行動の多様性を生み出し、健康管理に役立てます。「七夕エンリッチメント」は2017年より毎年7月に開催しており、今回が8回目です。

今回短冊に使用する野菜や果物の中には、同じEXPOCITY内にある「デイリーカナーイズミヤ」から頂いた、切り売り用にカットされた野菜や夏の食材スイカなど、売り場に並ばない廃棄食材も含まれます。ニフレルでは2020年秋から「デイリーカナーイズミヤ」で出る廃棄食材を生きものへのエサに活用し、廃棄食材を有効活用するとともに、生きものたちに旬の食材を与える取り組みを行っています。



### 【本件に関する問い合わせ先】

7月6日(土)は、9時より短冊作りと短冊の設置の様子を取材・撮影いただけます。  
ご希望の方は、事前に下記までご連絡ください。  
NIFREL(ニフレル) PR・広報担当 西前、渋谷  
TEL:06-6876-2204 FAX:06-6876-2235 MAIL: nifrel.pr@nifrel.jp

## 【ニフレルの取り組み「環境エンリッチメント」について】

ニフレルでは、動物福祉の立場から、飼育動物の快適な暮らしを実現するための具体的な方策である「環境エンリッチメント」を行っています。エサのあげ方を工夫したり、おもちゃを与えたりすることで、生きものたちの日々の生活が単調にならないようにし、行動のバリエーションを増やすことを目的としています。ニフレルでは、一年を通じて様々な環境エンリッチメントを実施しています。

## 《生きているミュージアム「NIFREL」施設概要》

【名 称】 NIFREL(ニフレル)(館長:小畑 洋)

【運営会社】 株式会社海遊館(大阪市港区、社長:濱元 博之)

【所在地】 吹田市千里万博公園 2-1 EXPOCITY 内

【営業時間】 平 日 10:00~18:00 土・日・祝 9:30~19:00

※いずれも最終入館は閉館の1時間前

※状況により変更する場合があります。

【休 館 日】 年中無休。 ※年に1回設備点検のための臨時休館あり

【施設内容】 展示ゾーン(いろにふれる、わざにふれる、およぎにふれる、ワンダーモーメンツ、かくれるにふれる、みずべにふれる、うごきにふれる、つながりにふれる 合計8ゾーン)、ピクニックカフェ「EAT EAT EAT」(200㎡・112席)  
ミュージアムショップ(NIFREL×NIFREL)

【交 通】 大阪モノレール「万博記念公園駅」徒歩2分

【駐 車 場】 約4,100台(EXPOCITY 全体用駐車場)